

平成21年度

彦根翔陽高等学校

本年度の重点目標

- 学習習慣の確立と学力向上の取組みを推進する。
- 基本的な生活習慣を確立し、H R活動・部活動等の活性化を図る。
- 開かれた学校づくりを推進し、保護者や地域等から信頼される学校運営に努める。

領域	重点評価項目	中間評価(10月)	総合評価(3月)	
		自己評価	自己評価	学校関係者評価
1 学校経営	「一人ひとりを生かす」魅力ある総合学科の学校づくりを進めている。	A		
	保護者や地域に積極的に本校教育を説明し、信頼される学校経営に努めている。	A		
2 学習指導	学習習慣の確立や基礎学力充実に向けた取組みを行っている。	A		
	検定試験の受験を奨励し、資格を取得するよう指導を行っている。	A		
3 生徒指導	遅刻指導など、生徒の基本的な生活習慣の確立を図る指導を行っている。	A		
	服装・頭髪などの身だしなみ、挨拶や交通マナーの指導などを適切に行っている。	A		
4 進路指導	生徒が個性、適性に合った進路を主体的に考えられるよう進路指導を進めている。	A		
	小論文指導の充実に努めている。	A		
5 特別活動等	生徒が達成感を得られるよう部活動の活性化を図っている。	A		
	自ら考え、行動できる力を育成し、学校行事・学園祭では生徒の主体的な取組みを進めている。	A		
6 学校図書館	I T活用によるレファレンスサービスの充実を図り、図書館の積極的活用と利用の拡大に努めている。	A		
	読書や本についての広報活動を積極的に行い、読書活動を推進している。	A		
7 保健指導	生徒の事故、けが、病気への対応が迅速、適切に行われている。	A		
	生徒の健康管理と病気の予防に努め、健康意識を高める指導を行っている。	A		
8 人権教育	クラス活動をすすめ、生き生きとした学級、学校づくりに取り組んでいる。	A		
	映画鑑賞や講演会を開催し、人権意識を高める指導を行っている。	A		
9 環境教育	環境教育を関連教科で行ったり、学校行事のなかで環境意識を高める取組みをしている。	B		
	日常の清掃活動などを通して、生徒の環境美化に対する姿勢や態度を養っている。	A		
10 事務・管理	良好な学習環境を確保するため、施設・設備の適切な維持・管理に努めている。	A		
	電気・ガス・水道や紙の消費削減に努め、エコ製品の購入など環境に配慮した取組みを行っている。	A		
11 その他 学校の取組み	インターネット等の活用や学校説明会、体験入学などによる広報活動を充実している。	A		
	P T Aと学校が連携して、交通指導等に取り組んでいる。	A		

(注) ・評価表の見方： 6月 学校の教育目標に基づいた重点評価項目の公表

10月 中間評価(自己評価)の公表(8月までの教育活動に対する中間評価)A B C Dの4段階評価で示す。

3月 総合評価(自己評価・学校関係者評価)の公表(年間の教育活動に対する総合評価)A B C Dの4段階で示す。

・自己評価は教職員による評価。学校関係者評価は、保護者・学校評議員等より構成された評価委員会等が自己評価の結果について評価することを基本として行う評価。

・A B C Dの基準は、肯定的な評価が75%以上をA、50%以上75%までをB、25%以上50%までをC、25%未満をDとする。